

近畿病院図書室協議会第24回勉強会

研修部

日時：2007年7月28日（土）13：00～17：00

場所：神戸赤十字病院 2階 研修室

プログラム：

1. 近畿病院図書室協議会事業について

神戸社会保険中央病院 林 伴子氏

2. 書籍管理

大阪ハイテクノロジー専門学校 田中律子氏

3. Kinki Webcat

洛和会音羽病院 藤原純子氏

4. ILL 講義

大阪府立母子保健総合医療センター

中村雅子氏

5. ワークショップ；望ましい図書館運営委員

会のあり方

（各参加者より発表）

参加者数：20名（研修部4名を含む）

〈近畿病院図書室協議会事業について〉

近畿病院図書室協議会設立の目的と組織の概要、ならびにこれまでの主だった活動の紹介が冒頭にあり、今後の活動の中心をなすものとして、所蔵目録データを含むネットワーク内での情報を共有し有効利用をはかること、会誌や研修会・勉強会などを通じた研修活動の充実、関連教育活動への参加支援などが挙げられた。

また課題として、人材の確保、担当者の職場環境問題、地域間格差についての取組みが必要であることを指摘された。

〈書籍管理〉

書籍受入から配架までの流れの中で、所蔵目録データの作成を主とした説明があった。

手作業での目録作成と図書館システムを用いての目録作成を比較し、MARC-CD から図書登録が短時間でできる実際の図書館システムの例が挙げられた。

図書館システムが導入されていない環境の参加者が多かったが、正確な書誌データの入手において今後 MARC 対応の図書館システムを導入されることが薦められた。

〈Kinki Webcat〉

近畿病院図書室協議会所蔵目録 Web 版（Kinki Webcat）について、ログイン方法から ILL 申込書の作成や応用機能まで、段階を追って説明された。

相互貸借業務だけでなく雑誌整理業務もできる便利な機能（ダウンロード機能）の活用について、新任者が行えるように実際の入力例を挙げながら紹介された。

日々の業務において不安なく活用できるよう、Kinki Webcat についての質問や要望の連絡先について案内された。

〈ILL 講義〉

ILL（図書館間相互貸借業務）の基本的な事項の確認の後、JMLA（NPO 法人日本医学図書館協会）発行の「相互利用マニュアル 第5版」に基づく ILL 手順について説明され、第4版からの変更点についての詳細が紹介された。

次に相手館によって異なる料金の支払方法を中心に ILL マナーについての講義があった。ILL 料金の支払い・受け取りには、双方の負担がより少ない方法を採用することを推奨された。

〈ワークショップ；望ましい図書館運営委員会のあり方〉

一人当たり5分程度で、参加者が所属する施設での図書館運営状況が発表された。

司書が参加して行われる図書館運営委員会活動が望ましいところではあるが、その理想通りに活動が行われている施設は少なく、それぞれ

の施設で工夫はされているものの今後の改善に期待される意見が多かった。

また参加者の職場環境における問題や、それぞれの立場における課題などについて意見を交換し、有意義な交流の時間となった。

(文責：田中律子／大阪ハイテクノロジー専門学校)